

第5次浦添市行政改革大綱（案）に関するパブリックコメント【ご意見の概要と市の考え方】

令和3年3月30日

	ご意見の概要	市の考え方
1	第2章第5次浦添市行政改革大綱の目的等に重要な「協働」がない。 - 第4次浦添市行政改革大綱の位置づけとして、基本理念に1箇所「協働」の文言がある。改革の3つの視点の1つである「(3)分権時代の人づくり」の項目では、「②政策形成過程への市民参画」をあげている。市のホームページに掲載されている第4次浦添市行政改革大綱の平成30年度実績によると、平成29年度に「市民協働・男女共同参画課」を新設しているが、てだこ市民大学の入学者減少に歯止めがかかっておらず、OB約300名の活動状況も不明である。那覇市は市民協働大学・大学院のOBの活動場所の提供（支援センター）や活発な活動がある。実施計画項目の「附属機関のあり方研究」では、計画等への市民公募はあるが、市職員の参加が明らかに少ない。「協働（市職員＋市民）」になっていない。「協働」は市民のみとなっている。「協働」の達成結果が出ていないのに、なぜ第5次浦添市行政改革大綱の改革の視点から「協働」が消えたのかお伺いしたい。 - 那覇市経営改革大綱（平成26年4月）改訂の主な内容では、「市民協働」、「顧客志向」、「経営感覚」という3つの基本的な観点をあげています。また、「経営改革の基本的な理念について」の「視点1 市民協働」の項目では『「市政の主人公は市民である」という前提から、市民が主体的に参加する、参加できる機会の拡充を図る取り組みを推進していくことで、「市民力」「地域力」を育んでいきます。』とあげています。「行政改革度調査」で上位に入る厚木市は、現在、第7次厚木市行政改革大綱（案）のパブリックコメント中です。案では、「ウ 重点目標 3 市民協働により公共サービスを向上させる」を明確にあげています。同じく三鷹市も三鷹市都市経営アクションプラン2020において「協働のまちづくり推進」を明確にあげています。第5次浦添市行政改革大綱でなぜ行政改革で重要な「協働」推進が消えたのかお伺いします。	- 第4次浦添市行政改革大綱の取組課題である「②政策形成過程への市民参画」については、具体的な実施計画項目として「(1)附属機関のあり方研究」と「(2)パブリックコメント制度の拡充」の2つを掲げていますが、いずれの取組も順調に進んでいると評価しています。《補足》(1)附属機関のあり方研究は、市民の附属機関への参画を内容とするものであり、市職員の附属機関への参画を内容とするものではありません。 - 第5次浦添市行政改革大綱の策定に当たっては、他の計画との整合を図る必要がありますが、平成30年3月に策定された「第四次浦添市まちづくり生涯学習推進基本計画」において、協働の推進についての取組が掲げられています。 - ご指摘の「協働」については第4次大綱の取組において一定の成果を果たしたことから、第5次大綱においては他の計画との整合を図ることとし、浦添市総合計画をはじめ、前述の第四次浦添市まちづくり生涯学習推進基本計画などの他の計画に基づいて、取り組んでいきたいと考えます。 - なお、第5次行政改革大綱の取組項目として「④外部委託等の推進」を掲げていますが、外部委託等の手法には「NPO等市民活動団体との協働」が含まれます。既存の事務事業を見直し、外部委託等を推進する観点から「協働」に取り組みたいと考えます。 - ご意見を踏まえて、12ページの本文中「外部委託の推進」を「外部委託や協働の推進」に修正しました。

※意見募集期間：令和2年12月1日～28日